

World Cultural Council Award Ceremony について

1 World Cultural Council (WCC) の概要

(1) 設立

World Cultural Council (WCC) は、5大陸 124名の研究者（ノーベル賞受賞者含む）、大学学長等によって、1981年にメキシコで設立された国際機関である。設立の目的は下記のとおり。

- その表彰を通して寛容、平和、そして友愛の文化を促進すること。
- 研究、イノベーション、高等教育における卓越性を評価すること。
- その賞によって、個人とその業績を認識することによって、将来の世代を啓発すること。
- より良い世界へ向けた多様性と相互尊重のビジョンを示すこと。

2019年現在の理事長は、Sir Colin Blakemore氏（神経科学研究者、ロンドン大学教授およびオックスフォード大学名誉教授）が務めている。

公式サイト：<https://www.consejoculturalmundial.org/>

(2) 目標

- 世界中で重要な科学的、文化的、教育的、そして社会的な機関との関係を築く。
- 人類の社会的、文化的、道徳的、そして精神的な進歩を向上させることを目的としたデータと有用な研究を集める。
- 人類に進歩をもたらす科学的研究に報いる。
- 科学者、教育者、研究者を最高レベルで統合し、円滑なコミュニケーションを保つ。
- 文化の発展に大きな影響を与えた教育的貢献を評価する。
- 芸術家の業績を称え、その作品が世界に認知されるように貢献する。

(3) 表彰

WCCでは1984年から科学・教育・芸術の分野において優れた業績を持つ人物を選び、World Cultural Council Award Ceremonyを開催してAlbert Einstein World Award of Science（アルバート・アインシュタイン科学賞）、José Vasconcelos World Award of Education（ホセ・バスコンセロス教育賞）、Leonardo da Vinci World Award of Arts（レオナルド・ダ・ヴィンチ芸術賞）を授与している。科学賞の受賞者は毎年、教育賞と芸術賞の受賞者は交互に隔年で1名ずつ選出される。

(4) 表彰の候補者

Albert Einstein World Award of Science の候補者は、著名な科学者であり、かつその研究成果が次世代のインスピレーションを喚起するような研究者でなければならない。学問分野についてはライフサイエンス系、もしくは自然科学系であることが考慮される。

José Vasconcelos World Award of Education の候補者は、著名な教育者、もしくは教育政策の発展に大きく貢献した人物でなければならない。また、その活動を通して社会における教育・学習の質の向上に大きく影響を与えていることが必要である。

Leonardo da Vinci World Award of Arts の候補者は、著名な芸術家であり、その作品が芸術の発展に大きく寄与した人物であることが求められる。

いずれも、業績に加えて、各候補者がより良い世界の未来、そして人類の発展に向けたロールモデルとなりうるかが考慮される。

(5) 2019 年表彰者 (詳細は別紙参照)

■ 科学賞

Zhong Lin Wang (ワン・チョンリン) 教授：米国・ジョージア工科大学

Wang 教授は、ナノジェネレーター研究の先駆者・第一人者であり、2015 年にはノーベル物理学賞の有力候補者として表彰されている。

■ 芸術賞

Paulo Branco (パウロ・ブランコ) 氏：ポルトガル・映画プロデューサー

Branco 氏は、1979 年以降 300 以上の作品をプロデュースしており、同じくポルトガル出身のマノエル・ド・オリヴェイラ監督作品をはじめ、日本でも多く上映されている。

参考：過去の受賞者

・ Albert Einstein World Award of Science (科学賞)

	受賞者	所属	分野
2018	Jean-Pierre Changeux	Pasteur Institute	Neuroscience
2017	Omar M. Yaghi	University of California, Berkeley	Reticular Chemistry
2016	Edward Witten	Princeton University	Physics, Mathematics
2015	Ewine van Dishoeck	Leiden University	Molecular Astrophysics
2014	Philip Cohen	University of Dundee	Immunology
2013	Paul Nurse *1	Rockefeller University	Genetics and molecular genetics
2012	Michael Grätzel	École Polytechnique Fédérale de Lausanne	Solar Energy Conversion
2011	Geoffrey Ozin	University of Toronto	Nanochemistry
2010	Julio Montaner	British Columbia Center for Excellence in HIV/AIDS	Biomedicine
2009	John T. Houghton	John Ray Initiative	Environmental Research
2008	Ada Yonath *2	Weizmann Institute of Science	Crystallography
2007	J. Fraser Stoddart *3	University of California, Los Angeles	Chemistry and Molecular Nanotechnology
2006	Ahmed Zewail	California Institute of Technology	Femtochemistry
2005	John Hopfield	Princeton University	Life Sciences
2004	Ralph J. Cicerone	University of California, Irvine	Atmospheric Chemistry
2003	Martin Rees	Cambridge University	Astrophysics
2002	Daniel H. Janzen	University of Pennsylvania	Biology
2001	Niels Birbaumer	University of Vienna	Neurobiology

*1 2001年ノーベル生理学・医学賞受賞

*2 2009年ノーベル化学賞受賞

*3 2016年ノーベル化学賞受賞

・ José Vasconcelos World Award of Education (教育賞) (隔年で表彰)

	受賞者	所属	分野
2018	Prof. Malik Mâaza	University of South Africa	Education for societal development and sustainability
2016	Kalevi Ekman	Aalto University	Learning, teaching, research and industry
2014	Federico Rosei	INRS, University of Quebec	Chemical Sciences & Global Education
2012	Hans Ulrich Gumbrecht	Stanford University	European literatures; history and pragmatics of communication media; epistemology of everyday culture and philosophy
2010	Christian Azar	Chalmers University of Technology	Energy and Environment
2008	William G. Bowen	Princeton University	Higher education
2006	Marlene Scardamalia	University of Toronto	Social Education
2004	David Attenborough	BBC	Educational Broadcasting
2002	Jeannie Oakes	University of California, Los Angeles	Science Education

・ Leonardo da Vinci World Award of Art (芸術賞) (隔年で表彰)

	受賞者	分野
2017	Russell Hartenberger	Percussion, Musicology, Ethnomusicology
2015	Milton Masciadri	UNESCO Artist for Peace
2013	Petteri Nisunen, Tommi Grönlund	Contemporary arts
2011	Todd Siler	Visual artist, writer, inventor and polymath
2009	Marcell Jankovics	Art and Philosophy
2007	Anne Moeglin-Delcroix	Art and Philosophy
2005	Enrique Norten	Architecture
2003	Otto Piene	Sculpture
2001	Edna Hibel	Painting

(6) 授賞式

授賞式は、毎年世界各国の大学等をホストとして開催されてきた。過去のホストとしては学術・研究において大きな実績を上げている機関（例として、マサチューセッツ工科大学（米国）、オックスフォード大学（英国）、南洋理工大学（シンガポール）、スイス連邦工科大学チューリッヒ校（スイス）など）が務めており、今回筑波会議がこれらの大学と並び、そして日本で初めてこの授賞式をホストすることとなった。

また、ホスト機関から推薦された若手研究者の特別表彰（Special Recognition）も行われ、彼らの業績を世界へ紹介する機会ともなっている。

近年の表彰式ホスト大学・開催国

開催年	ホスト大学	開催国
2018	香港城市大学	香港
2017	ライデン大学	オランダ
2016	リガ工科大学	ラトビア
2015	ダンディー大学	イギリス
2014	アールト大学	フィンランド
2013	南洋理工大学	シンガポール
2012	オーフス大学	デンマーク
2011	タルトゥ大学	エストニア
2010	メキシコ州立自治大学	メキシコ
2009	リエージュ大学	ベルギー
2008	プリンストン大学	米国
2007	ヌエボ・レオン自治大学	メキシコ
2006	国立理工科大学	メキシコ
2005	アグラリア・アントニオ・ナ 口自治大学	メキシコ
2004	リエージュ大学	ベルギー
2003	ヘルシンキ大学	フィンランド
2002	ダブリン大学	アイルランド
2001	ユトレヒト大学	オランダ

(7) Special Recognition について

Special Recognition は、ホスト機関から推薦を受けた、顕著な研究実績を上げている若手研究者を表彰するものである。2019 年は、筑波会議より推薦された学術研究・教育機関に在籍する 10 名の研究者が表彰を受けることになった。いずれも、今後の日本の学術界をけん引していくであろう優秀な若手研究者である。

受賞者一覧

所属機関	氏名	職名	研究分野
国立環境研究所	江波 進一	環境計測研究センター 主任研究員	Atmospheric and Environmental Chemistry
理化学研究所	市橋 泰範	バイオリソース研究センター チームリーダー	Plant Science and Agriculture
産業技術総合研究所	池田 和浩	フォトニクスシステムグループ グループ長	Opto-electronics, Silicon Photonics
東京大学	菊池 康紀	未来ビジョン研究センター 准教授	Process systems engineering, Life cycle engineering
筑波大学	松本 正幸	医学医療系 教授	Neuroscience
建築研究所	宮内 博之	材料研究グループ 主任研究員	Building material, Drone technology
筑波大学	島田 裕子	生存ダイナミクス研究センター 助教	Developmental Biology
物質・材料研究機構	内田 健一	スピンエネルギーグループ グループリーダー	Spintronics, Thermoelectrics
高エネルギー加速器 研究機構	後田 裕	素粒子原子核研究所 教授	Elementary Particle Physics Experiment
農業・食品産業技術 総合研究機構	吉岡 太陽	新素材開発ユニット 研究員	Development of high- performance silk materials

2 筑波会議 2019 内にて開催される WCC 関連イベント

(1) Special Lecture (特別講演)

WCC の理事長である Sir Colin Blakemore 氏、2019 年科学賞受賞者の Zhong Lin Wang 教授、および芸術賞受賞者の Paulo Branco 氏により、それぞれの専門分野について、1 時間程度の特別講演を行う。

○WCC 理事長の講演：10 月 3 日（木）17:15～18:15

○Zhong Lin Wang 教授、Paulo Branco 氏の講演：10 月 4 日（金）10:00～12:00

(2) WCC 2019 Award Ceremony (授賞式)

○授賞式：10 月 4 日（金）16:30～18:00

(3) 参加申し込み

筑波会議 2019 サイト内の WCC 表彰式特設ページ内“Registration”にて受付中。

<https://tsukuba-conference.com/wcc/registration/>

いずれも参加費用は無料。

ワン・デヨン リン博士 (Dr. Zhong Lin Wang) について

(略歴)

1961 年 生まれ

1987 年 米国アリゾナ州立大学で博士号取得

2006 年 世界で最小の発電機、「ナノジェネレーター」を開発

2009 年 中国科学院の Foreign Members に選出

現 米国ジョージア工科大学 School of Materials Science & Engineering 教授

- ワン博士は米国のジョージア工科大学の教授であり、また中国科学院北京ナノエナジー・ナノシステム研究所の所長も務めている。
- ワン博士は近未来を変える可能性を持った新エネルギー・センター技術開発におけるパイオニア的存在であり、自家発電システムとしてのナノジェネレーターシステムの開発者として最も知られている。
- そのイノベーションは非常に大きなエネルギーを日常的な、再生利用かつ無害な資源から生み出し、将来的に世界のエネルギー需給問題を解決する可能性を秘めた海洋の波力利用について、革命的なアプローチをもたらしている。
- ナノシステム・ナノジェネレーターシステムに関する研究は、エネルギー科学における学問分野 - ナノエナジー - として確立されようとしている。
- ナノジェネレーターは、IoT、ロボット工学や人工知能のためのヒューマンインターフェース、埋め込み型医療機器、ヘルスケア、設備モニタリングのためのセンサー、さらには環境保護まで、私たちの生活の隅々に革命をもたらす可能性を秘めている。
- ワン博士は 1,500 本の査読付き論文を発表しており（うち 55 本が Nature、Science、および関連誌に掲載）、Google Scholar によると引用は 205,000 以上、h 指数は 226 となっている。

パウロ・ブランコ氏 (Mr. Paulo Branco) について

(略歴)

1950 年生まれ

- 2019 年のレオナルド・ダ・ヴィンチ芸術賞は、ポルトガル人の映画プロデューサーであるパウロ・ブランコ氏へ授与されることになった。
- ブランコ氏は 1979 年から 300 以上の映画を、ポルトガルをはじめとした世界各国においてプロデュースしている。同じくポルトガル出身の映画監督であった故マノエル・ド・オリヴェイラ氏と組んで製作された作品等は、日本でも上映されてきた。
- アメリカの映画俳優・映画プロデューサーであるジョン・マルコビッチ氏は、ブランコ氏を「並外れた映画プロデューサー」と評しており、またドイツの映画監督であるウィム・ヴェンダーズ氏は「非常に映画を大切にし、自ら育てるといふ、現在においてほぼ消滅してしまったタイプのプロデューサー」と評している。
- ブランコ氏は国際映画祭において多くのポルトガル・ヨーロッパ映画をプロモートしており、またベルリン国際映画祭、ヴェネツィア国際映画祭、ロッテルダム国際映画祭等で審査員や代表を務めたこともある。
- プロデュース作品の 27 本の作品がカンヌ映画祭で、48 作品がヴェネツィア映画祭で公式選出された。
- 2007 年に始まったリスボン・シントラ映画祭の創始者であり、毎年フランシス・フォード・コッポラ、ベルナルド・ベルトルッチ、ペドロ・アルモドバルといった映画監督、脚本家、俳優、芸術家や音楽家等を招待している。